

授業科目

卒業研究II

担当教員名 勝平 純司、 義肢装具自立支援学科教員全員	対象学年	4	対象学科	義肢
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	◎	◎

授業の概要

義肢装具ならびに福祉用具にかかわる研究の結果から考察に至る論文作成に関わる理論・手法を指導する。

授業の目的

義肢装具ならびに福祉用具にかかわる研究について得られた結果に考察を加え、論文完成に至る技術を習得する。

学習目標

1. これまでに学習した知識を生かした研究ができる。
2. 科学的評価手法を正しく実践して、評価結果を正しく解釈できる。
3. 社会に貢献できる研究が遂行できる。
4. 自主的に研究ができる。
5. 仲間と助け合って研究ができる。
6. 結果をわかりやすくプレゼンテーションできる。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	研究計画の内容と研究の整合性	演習	
2	研究計画（ゼミ活動）	演習	義肢装具自立支援学科教員全員
3	実験（ゼミ活動）	演習	義肢装具自立支援学科教員全員
4	実験（ゼミ活動）	演習	義肢装具自立支援学科教員全員
5	実験（ゼミ活動）	演習	義肢装具自立支援学科教員全員
6	実験（ゼミ活動）	演習	義肢装具自立支援学科教員全員
7	分析（ゼミ活動）	演習	義肢装具自立支援学科教員全員
8	第3次中間発表会	プレゼンテーション	義肢装具自立支援学科教員全員 他
9	第3次中間発表会	プレゼンテーション	義肢装具自立支援学科教員全員 他
10	分析（ゼミ活動）	演習	義肢装具自立支援学科教員全員
11	論文執筆（ゼミ活動）	演習	義肢装具自立支援学科教員全員
12	論文執筆（ゼミ活動）	演習	義肢装具自立支援学科教員全員
13	論文執筆（ゼミ活動）	演習	義肢装具自立支援学科教員全員
14	研究発表会	プレゼンテーション	義肢装具自立支援学科教員全員 他
15	研究発表会	プレゼンテーション	義肢装具自立支援学科教員全員 他

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書						
参考書						
その他の資料						

評価方法

発表内容と論文について、以下の項目を評価する。

<中間発表・最終発表：50%>

1. 計画が立案できる知識を身につけているか
2. 社会に役立つ研究を進めているか

- 3.自主的に進めているか
 - 4.仲間と助け合って進めているか
 - 5.科学的評価手法を正しく実践して、評価結果を正しく解釈できているか
 - 6.わかりやすいプレゼンか
- <論文の質：50%>
- 1.論文構成が学科基準に準拠しているか
 - 2.社会に貢献できる論文になっているか

履修上の留意点

卒業研究計画の単位修得者でなければ履修することはできない。

オフィスアワー・連絡先

研究室：L310

連絡先：katsuhira@nuhw.ac.jp

授業に関する質問等の連絡先については授業開始時に履修者にお知らせします。